

令和元年度事業報告

平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

<令和元年度の社会・経済情勢を振り返って>

昨年、5月1日、新天皇の即位により、30年続いた「平成」が終わりを迎えた。

新しい時代「令和」の幕開けは、当初順調なスタートを切ったが、9月以降は厳しい状況に見舞われた。

本県においては、昨年9月に台風15号が、同10月には台風19号が立て続けに上陸・直撃し、とりわけ台風15号による被害では、県南部を中心に、居住家屋や農林水産業等に甚大な被害が生じた。全国的には、昨年11月に中国武漢市で発生が確認された新型コロナウイルスの急速な世界的感染拡大により、政府から大規模イベントや全国的なスポーツ大会等の開催に対する自粛要請がなされたほか、東京オリンピック・パラリンピック大会の開催が延期されるなど、新型コロナウイルスによる影響は、MICE事業をはじめとするあらゆる分野の国内産業を直撃し、様々な経済活動で自粛社会への転換を迫られることとなった。

こうした一年の中、当財団では、昨年6月1日に節目となる財団設立30周年を迎え、MICE主催者や賛助会員等に対する交流イベントの「千葉MICE Day」において、MICE開催により、特に地域に貢献のあった団体を表彰する記念事業を行ったほか、MICE開催地の格付けを行っているCvent社（米国）による「MICEアジアトップ25都市」の25位に千葉県・千葉市がランクインするなど、当財団の活動が高く評価された出来事もあった。

また、令和2年1月には、千葉県市原市田淵にある地球磁場逆転期地層の名称が「チバニアン」に決定するといった喜ばしい出来事もあり、MICE資源としても今後の活用が期待される場所である。

以上、令和元年度は、当財団を取り巻く環境が目まぐるしく変化した一年であったが、新型コロナウイルスの年度内における直接的影響が2月から3月までの間と限定的であったことが幸いし、以下に記載した成果を上げることができた。むしろ、新型コロナウイルスの感染拡大による社会・経済的情勢の変化や損失は、令和2年度事業に大きく影響を及ぼしてきており、今年度の事業執行についても、適宜適切な見直しが求められる場所である。

I 事業概要

1 MICE事業部門

国際会議等のMICEは、優れた人材や知見、投資を我が国に呼び込むことにより、ビジネス機会やイノベーションの創出、開催地域を中心に大きな経済波及効果を生み出し、国や都市の国際的な競争力を強化する施策として極めて重要な役割を果たす。

国は平成 25 年 6 月に閣議決定された「日本再興戦略」で掲げられた「2030 年にはアジア No. 1 の国際会議開催国としての不動の地位を築く」という目標及び平成 30 年 7 月「国際競争力強化委員会提言」で掲出された「2030 年 MICE 関連訪日外国人消費相当額 8,000 億円」の目標を達成するために、MICE の誘致・開催における都市の国際競争力の向上を図ってきた。

当財団では、こうした国の動きを踏まえるとともに、観光庁が「グローバル MICE 都市（千葉県・千葉市）」に対して実施した支援事業や、日本政府観光局（JNTO）、日本コンGRESS・コンベンションビューロー（JCCB）の事業を活用して、MICE 事業の一層の強化を図ったところであり、その結果、2019 年の MICE 開催件数は 174 件と目標を上回って達成することができた。

千葉県の知名度の向上、フィルムツーリズムの推進等を目的とする千葉県フィルムコミッション運営事業（受託事業）については、千葉県の補助制度である「千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金」の活用など、積極的な事業推進に努めてきたところであり、令和元年度の県内撮影件数は 63 件と目標を上回る実績となった。

また、2020 年に開催予定であった東京オリンピック・パラリンピックに向けて千葉県が実施してきた「スポーツコンシェルジュ運営事業」については、平成 27 年度の発足当初から当財団が受託しており、事前キャンプや国際大会等の県内誘致に向けた活動に努めたほか、事前キャンプの誘致に伴い必要となる各国オリンピック委員会や競技団体との契約手続きに関するアドバイザー制度を創設し、関係自治体を支援した。

2 国際交流部門

千葉県内に在住する外国人は、外国人技能実習生の拡充や留学生の受入促進等を背景に、年々増加し、令和元年末には 16 万 5 千人を超え、人口比は 2.63%を記録している。平成 31 年 4 月の入管法改正により新たな在留資格「特定技能」が創設され、特定の分野で外国人を労働者として受け入れることが可能となり、訪日外国人旅行者の増加も含め、経済・社会のグローバル化の進展に伴い、外国人は地域社会の身近な存在となっている。

こうした状況の中、当財団では、民間国際交流・協力団体の活動や国際交流ボランティアなどに関する各種情報収集、情報提供、様々な関係団体との連絡会議を行ったほか、在住外国人への支援体制をより充実させるため、無料法律相談をこれまでの年 12 回から年 15 回とし、従来 4 言語で実施していた千葉県外国人相談を 7 月 1 日より対応言語数を 13 言語に拡充した。

また、国際交流ボランティアの資質向上に向け、日本語ボランティア講座やコミュニティー通訳等の講座を行うとともに、県民等に対する国際理解や国際交流・協力への気運を醸成するため、国際フェスタ CHIBA や国際理解セミナーの開催、ちば出前講師の紹介を実施した。特に東京オリンピック・パラリンピックに向け、通訳ボランティアの養成講座

を開催するとともに、国際スポーツ大会等にボランティアを紹介し、大会運営に協力した。

さらに、会報誌やホームページ、Facebookにて、当財団の活動報告を行うほか、在住外国人向けの各種支援や国際交流・協力に関する様々な情報の提供を実施した。特に、令和元年9月～10月に発生した台風15号、19号等の災害時には、ホームページやFacebookを活用し、在住外国人や支援者向けに積極的な情報発信に努めた。

3 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響

昨年11月に中国武漢市において発生が確認された新型コロナウイルス感染症については、瞬く間に世界に拡散し、我が国や本県においても感染者が多数発生した。

この感染拡大により、令和2年2月下旬には、政府から大規模な感染リスクを伴うスポーツ・文化イベント等の延期・中止等が要請された。

この要請により、令和2年3月に幕張メッセで開催が予定されていた「第46回国際食品・飲料展（Foodex Japan 2020）」が中止されたほか、当財団主催の国際理解セミナー等についても開催の中止を余儀なくされた。

II 実施事業

1 オール千葉による MICE 誘致・開催支援の実施

(1) MICE 誘致の新たな展開

ア MICE 関連目標数値

激化する地域間競争に打ち勝ち、千葉県における MICE(*)開催を促進するため、千葉県、国際会議観光都市(*) (千葉市、成田市、木更津市及び浦安市)、各市町村、地元大学、研究機関、関係団体、賛助会員等との連携を強化し、「オール千葉」として効果的な誘致活動等を展開した。

【MICE 開催件数】 2019年1月～12月 (暦年)

	JNTO 基準国際会議(*) (C)	企業会議 (M) インセンティブ旅行 (I) イベント等 (E)	合計
目標	115 件	46 件	161 件
実績	122 件	52 件	174 件

イ 開催された主な MICE

区分	名称	開催時期	参加者数 (うち海外)	開催場所
C	第30回日本臨床モニター学会総会	平成31年4月	222名 (1名)	龍宮城ホテル三日月
C	第18回国際小児呼吸器学会	令和元年6月	491名 (409名)	幕張メッセ
I	仮想通貨販売インセンティブ旅行 (シンガポール)	令和元年6月	1,000名 (1,000名)	浦安市内ホテル
C	2019年画像技術国際会議 (ICAI2019) および合同大会	令和元年7月	568名 (26名)	幕張メッセ
I	日越企業連盟をつなぐ会議(ベトナム)	令和元年7月	200名 (200名)	成田市内ホテル
C	IceCube Collaboration Fall Meeting2019	令和元年9月	180名 (170名)	千葉大学
C	第46回日本ニュージーランド経済人 会議	令和元年9月	148名 (69名)	柏の葉カンフェレンスセンター

C	Monoreilex2019-Chiba Japan (国際モノレール協会年次総会)	令和元年 11 月	52 名 (51 名)	ホテル ザ・マンハ ッタン
C	TM5 Annual Meeting 2019 (第五回商標五庁年次会合)	令和元年 12 月	60 名 (20 名)	浦安市内ホ テル
C	ID5 Annual Meeting 2019 (第五回意匠五庁年次会合)	令和元年 12 月	60 名 (20 名)	浦安市内ホ テル

ウ 千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業（受託事業）

平成 27 年度以降、千葉県から事業を受託しており、ホームページを活用してスポーツ施設・宿泊施設・病院をパッケージとした情報提供を行うとともに、国際競技団体等の依頼に基づく視察への対応や、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致を希望している自治体との調整を行った。

また、2028 年オリンピックから正式種目になる可能性が高い、アメリカの人気種目ラクロスの女子国際大会を浦安市で開催した。さらに、アメリカ PGA 主催のプロゴルフトーナメントの開催にあたり、ドクターやトレーナーの派遣を支援した。

そのほか、オリンピック・パラリンピックや県内のスポーツ情報などを発信するメールマガジンの充実に努めた。

(ア) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等の誘致【一部新規】

東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプの誘致を希望する自治体とともに誘致活動を行った。また、サーフィンなどの事前キャンプに関する情報収集を行うほか、各国オリンピック委員会（NOC）や競技団体（NF）の視察に対応するとともに、各国大使館に出向いてのプレゼンテーションを行った。そのほか、NOC や NF との契約手続に関するアドバイザー制度を創設し、市町村からの相談業務にあたりるとともに、契約に関する調印式のサポートを行った。

(イ) ホームページ等を活用した発信力の向上

2020 東京オリンピック・パラリンピックや国際スポーツ大会の事前キャンプ、学生のスポーツ合宿などの誘致に資することを目的として、日本語と英語の 2 か国語のホームページや、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）などによる積極的な情報発信を行った。また、協力大学、協力企業のバナーをホームページに掲載した。

a 掲載スポーツ施設：市町村・民間・大学などの施設 150 件

b 掲載宿泊施設：千葉市など県内 28 郡市の施設 147 件

(ウ) 千葉県らしいスポーツツーリズムの推進

川や海、冬でも楽しむことができるサイクルツーリズムなど、千葉県らしいスポーツイベントを紹介するリーフレットを作成し、海外等への発信に努めた。

また、千葉県と姉妹県州の米国ウィスコンシン州にある世界的自転車メーカーのトレック社を訪問し、連携を図っていくことになった。さらに、千葉銀行がアライアンスを組んでいる横浜銀行とともに、台風の被災地である房総半島と三浦半島を回る自転車スタンプラリーの開催を支援した。

(2) 誘致競争力の強化

ア MICE 誘致活動

千葉県・千葉市国際会議補助金制度及び当財団の支援プログラムや助成金制度等を紹介・活用しながら、国内・海外で開催される展示会・商談会・セミナーに参加し、制度を積極的に活用し、国際会議をはじめインセンティブ旅行や企業ミーティングの誘致活動を展開するとともに、ステークホルダーとの連携強化に取り組んだ。

こうした誘致活動が評価され、CVENT 社（米国の世界的なイベントテクノロジーサービス会社）による「MICE 開催地アジアトップ 25 都市」の 25 位に千葉県・千葉市が選出された。

また、戦略的な誘致活動を展開するため、「MICE 誘致基本方針」を策定し、M・I・C・E ごとに取組の方向性を示した。

M・I に関しては、重点エリア（台湾、東南アジア〔タイ、マレーシア、インドネシア、シンガポール〕、インド、欧米）を定め、より効果的な誘致活動を目指す。

C に関しては、会議の内容・規模・誘致の可能性等により優先順位を決定し、より戦略的な活動を目指す。

E に関しては、主に民間企業が主催となるが多いため、地域貢献度などを考慮し関係機関と連携を取りながら対応していく。

【誘致決定 MICE 件数】 2019 年 4 月～2020 年 3 月（年度）

カッコ書き（ ）は昨年度の件数

	JNTO 基準 国際会議	JNTO 基準外 会議（未定含む）	M. I. E	合計
実績	86 (75)件	17 (10)件	49 (48)件	152(133)件

【誘致決定した主な MICE】

区分	名 称	開催時期	参加者数 (うち海外)	開催場所
I	仮想通貨販売インセンティブ旅行 (シンガポール)	令和元年 6 月	1,000 名 (1,000 名)	浦安市内ホテル

I	食品関係商社インセンティブ(インド)	令和元年6月	350名 (350名)	浦安市内ホテル
I	日越企業連盟をつなぐ会議(ベトナム)	令和元年7月	200名 (200名)	成田市内ホテル
I	ダナンガイドツアー(ベトナム)	令和元年11月	29名 (29名)	木更津市他
I	健康食品販売会社インセンティブ (マレーシア)	令和2年10月	700名 (700名)	千葉市内ホテル
C	World Blind Union Asia Pacific Region Seminar on Massage	令和2年11月	300名 (100名)	幕張メッセ
C	JFA フットボールカンファレンス	令和3年1月	1,600名 (100名)	幕張メッセ
C	The 9th International Meeting on Relaxations in Complex Systems (コンプレックスシステムにおける 緩和に関する国際会議) ※「令和元年度JNTO国際会議誘致・開催貢献 賞」(誘致の部)	令和3年7月	900名 (600名)	幕張メッセ
C	第63回人間ドック学会学術大会	令和4年9月	5,000名 (10名)	幕張メッセ
C	第45回日本分子生物学会年会	令和4年11月	8,500名 (200名)	幕張メッセ
C	第64回国際数学オリンピック 日本大会 2023	令和5年7月	1,100名 (800名)	幕張メッセ

(7) 国内誘致活動

a 主催者訪問と視察受入れ

千葉県、国際会議観光都市、地元大学や研究機関（千葉大学、千葉工業大学、神田外語大学、日本大学、国際医療福祉大学、千葉商科大学、東京大学、東京理科大学、量子科学技術研究開発機構、かずさDNA研究所等）と連携して、誘致活動等を行った。

(a) 主な誘致活動

- ・企画書・見積書の提出
 - 環境と新冷媒国際シンポジウム（2022年）
 - 国際膜会議（2023年）
 - 第20回日本臨床腫瘍学会学術集会（2023年～2025年）等
- ・国内外キーパーソン（MICE開催決定権者又は影響力を持つ者）の視察受入れ
 - ID5 Annual Meeting 2019 第五回意匠五庁年次会合（2019年）
 - World Blind Union Asia Pacific Region Seminar on Massage（2020年）

健康食品販売会社インセンティブ旅行（ベトナム）（2019年）
プレオリンピックフォーラム 2020（2020年）
第52回国際騒音制御工学会議（2023年）等

(b) 企画提案書（ビット）テンプレートの作成【新規】

国際会議等の誘致の際に主催者に対してすみやかに企画提案書が提出できるように、千葉県で MICE を開催する他都市との比較優位点や、プレ・ポストコンベンションツアーの情報など、県内にて MICE を開催する際のイメージを分かりやすく主催者に伝えるための情報を整理し、標準提案書を作成した。

b 県内大学教職員・研究者に対する MICE セミナー・視察会の実施

開催地を決定するキーパーソンである大学の教職員や研究者などを対象に、MICE に関する最新情報の提供と、財団の活動を紹介するセミナーを開催するとともに、誘致に結び付けるため MICE 施設視察会や意見交換会を実施した。

(a) 千葉工業大学教職員対象 MICE 施設視察会

日 時：令和元年 7 月 23 日（火）10 名
視察先：かずさアーク、かずさ DNA 研究所

(b) 量子科学技術研究開発機構対象 MICE セミナー【新規】

日 時：令和元年 9 月 27 日（金）14 名
会 場：放射線医学総合研究所

(c) 千葉エリア日本大学新技術説明会【新規】

日 時：令和 2 年 2 月 14 日（火）60 名
会 場：日本大学薬学部

c 千葉 MICE Day の実施

(株) かずさアカデミアパークと共催により、MICE 主催者や賛助会員を対象に、MICE を通じたビジネスチャンスの拡大や新たなネットワーク作りに活用していただくことを目的に交流イベントを開催した。同時に基調講演のほか、当財団設立 30 周年を記念して、特に地域貢献のあった 5 団体に MICE アワードとして感謝状と記念品を贈呈した。

- ・開催日：令和元年 7 月 23 日（火）
- ・開催場所：かずさアーク（木更津市）

- ・参加者数：238名
- ・基調講演：「千葉県のインバウンド未来戦略 ～MICE ビジネスと観光で稼ぐ成功の方程式」
日本インバウンド連合会(JIF)理事長 中村好明氏
- ・財団設立30周年記念アワード【新規】
受賞団体：5団体
 - ①国際キワニス日本地区
 - ②第9回国際中欧・東欧研究協議会 幕張世界大会
 - ③第10回アジア環太平洋音声言語聴覚学会学術大会
 - ④第13回エレクトロクロミズムに関する国際会議
 - ⑤（公社）日本地球惑星科学連合
- ・情報交換会：アトラクション（木更津芸者衆）、着物着付、地元産品の魅力PRブース、地酒ブース、賛助会員ブース等を出展した。

d ステークホルダーとの連携

誘致競争力の強化を図るため、各自治体、MICE 施設及び宿泊施設等との情報共有を図るとともに、共同誘致に向けた体制作りに取り組んだ。

(a) 「MICE 誘致施設連絡会議」の実施

MICE 施設、千葉県、国際会議観光都市等との情報・課題の共有と、「オール千葉」による共同誘致を図るため、「MICE 施設連絡会議」を開催した。

開催日	内容	団体数 (参加者数)
平成31年4月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度MICE事業計画について ・MICEに関する情報交換 	17団体20名

(b) 誘致案件検討会

「オール千葉」の体制強化及びMICE 誘致・開催による直接的経済効果やレガシーを醸成する基盤の強化を図るため、本年度より MICE 施設、宿泊施設等、直接的な経済効果受益者だけではなく、全賛助会員に参加を促進した。

また、MPI(*)フランスチャプターから講師を招聘し、最新の国際潮流やMICE 業界の動向を紹介するセミナーを企画・開催した。

<令和元年度開催状況>

開催回数：7回 参加団体：延べ87団体 参加者数：延べ104名

e ちば MICE エクスカーションガイドの制作【新規】

誘致ツールとして MICE 誘致で紹介を求められるユニークベニュー(*)、体験プログラム、テクニカルビジット(*)等に利用可能な施設を 9 つのコースにまとめた冊子を制作し、MICE 主催者等に配布し、誘致・支援活動を展開する。

(イ) 海外誘致活動

a IMEX2019 への出展

- ・名 称：IMEX2019
(The Worldwide Exhibition for Incentive Travel, Meetings and Events)
- ・会 期：令和元年 5 月 21 日 (火) ～23 日 (木)
- ・会 場：ドイツ・フランクフルト Messe Frankfurt
- ・主催者：Regent Exhibitions Ltd
- ・商談数：55 件

b IMEX America 2019 への出展

- ・名 称：IMEX America 2019
- ・会 期：令和元年 9 月 11 日 (水) ～12 日 (木)
- ・会 場：米国・ラスベガス Sands Expo Convention Center
- ・主催者：Regent Exhibitions Ltd
- ・商談数：42 件

c ICCA(*)が主催する商談会への参加

- ・名 称：ICCA アジア太平洋チャプター ビジネスワークショップ 2019
- ・会 期：令和元年 9 月 16 日 (月) ～18 日 (水)
- ・会 場：豪・メルボルン Melbourne Convention and Exhibition Centre
- ・主催者：ICCA アジア太平洋チャプター
- ・商談数：18 件

d IBTM World 2019 への出展

- ・名 称：Incentive, Business Travel & Meetings Exhibition World
- ・会 期：令和元年 11 月 19 日 (火) ～21 日 (木)
- ・会 場：スペイン・バルセロナ Fira de Barcelona Hall 3
- ・主催者：Reed Travel Exhibition Ltd
- ・商談数：63 件

(ウ) 誘致活動の強化促進（特別対策事業）

国際的な MICE 誘致競争が激化する中、海外競合国・都市との厳しい誘致競争に打ち勝つため、国内・海外で開催される商談会・セミナー、千葉県と連携したインセンティブ旅行セミナー商談会開催や共同セールス、財団主催インセンティブ旅行セミナー・商談会を実施して、ステークホルダーと共に千葉県のインセンティブ旅行先としての魅力や支援策、旅程のアイデア等を主催者に積極的に PR した。

a 国内商談会への参加

(a) ビジットジャパン・東アジア・トラベル・マート

- ・会 期：令和元年 6 月 18 日（火）～19 日（水）
- ・会 場：アスティとくしま（徳島県徳島市）
- ・主催者：JNTO
- ・商談数：28 件
- ・参加者：東アジア 4 か国・地域（中国・韓国・台湾・香港マカオ）の旅行会社約 80 社、国内観光関係者・事業者 76 社

b 海外商談会への参加

(a) インセンティブ旅行セミナー（インドネシア・マレーシア）

- ・会 期：令和元年 7 月 9 日（火） インドネシア
令和元年 7 月 11 日（木） マレーシア
- ・会 場：プルマンジャカルタ ジャカルタ特別州
インターコンチネンタル クアラルンプール
- ・主催者：JNTO
- ・商談数：インドネシア 22 件 他旅行会社訪問 7 件
クアラルンプール 19 件 他会議主催者・旅行会社訪問 4 件

(b) インセンティブ旅行セミナー（ベトナム）

- ・会 期：令和元年 8 月 19 日（月）
- ・会 場：ホテルコンチネンタルサイゴン ホーチミン市
- ・主催者：JNTO
- ・商談数：10 件 他旅行会社訪問 5 社

c 千葉県と連携した海外旅行会社訪問

(a) 千葉県高雄 KTF 旅行会社訪問（台湾）

- ・会 期：令和元年 5 月 27 日（月）～29 日（水）

- ・訪問先：高雄市、台南市、台中市、台北市
- ・主催者：千葉県
- ・訪問数：12社

(b) 千葉県タイ旅行会社セールスコール（タイ）

- ・会期：令和元年10月28日（月）～11月1日（金）
- ・訪問先：バンコク市
- ・主催者：千葉県
- ・参加者：千葉県、鴨川シーワールド、プラスワン、当財団
- ・訪問数：20社

d 千葉県と連携したインセンティブ・セミナー及び商談会開催

(a) 千葉県インセンティブ・セミナー商談会(台湾)

- ・会期：令和元年6月12日（水）
- ・会場：スプレnderホテル台中 台中市
- ・主催者：千葉県、当財団
- ・参加者：台湾側 旅行会社 30社 37名
千葉県側 10団体
- ・商談数：17件 他旅行会社等訪問 25社

(b) 千葉県インセンティブ・セミナー（タイ）

- ・会期：令和元年8月2日（金）
- ・会場：ザ・ランドマークバンコク バンコク市
- ・主催者：千葉県、当財団
- ・参加者：旅行会社 19社 34名
- ・商談数：5件 他旅行会社等訪問 17社

(c) 千葉県 KUL インセンティブ・セミナー 商談会(マレーシア)

- ・会期：令和2年2月18日（火）
- ・会場：グランドミレニアム クアラルンプール市
- ・主催者：当財団
- ・参加者：マレーシア側 旅行会社 10社 17名
千葉県側 7団体
- ・商談数：10件 他旅行会社等訪問 14社

(イ) 県・関係団体等からの受託事業

a ビジットジャパントラベルマート(VJTM)2019 東アジアの商談会運営事業

- ・会 期：令和元年6月18日(火)～19日(水)
- ・会 場：アスティとくしま(徳島県徳島市)
- ・主催者：JNTO
- ・商談数：30件
- ・参加者：東アジア4か国・地域(中国・韓国・台湾・香港マカオ)の旅行会社約80社、国内観光関係者・事業者76社
- ・委託者：千葉県

b VJTM2019の商談会運営事業

- ・会 期：令和元年10月24日(木)～26日(土)
- ・会 場：インテックス大阪
- ・主催者：観光庁・JNTO
- ・商談数：150件
- ・参加者：海外各国の旅行会社約350社 海外旅行メディア約20社
国内観光関係者・事業者約570社
- ・委託者：千葉県
千葉県国際観光推進協議会
成田空港周辺地域国際観光推進協議会

c VJTM2019 アセアン+インドアの商談会運営事業

- ・会 期：令和元年11月27日(水)～28日(木)
- ・会 場：愛知国際展示場
- ・主催者：JNTO
- ・商談数：24件
- ・参加者：東南アジア6か国(タイ・シンガポール・マレーシア・インドネシア・ベトナム・フィリピン)とインドの旅行会社 約80社
国内観光関係者・事業者約80社
- ・委託者：千葉県

d 外国人による千葉県体験モニターツアー・情報発信事業(台湾)

外国人モニターによる県内モニターツアーの各種調整とモニターの台湾での情報発信のフォローアップを実施した。

- ・実施時期：①モニターツアー 令和元年7月7日(日)～10日(水)
②情報誌「WHERE 旅游味」 令和元年9月号と11月号

- ・訪問先：成田市、千葉市、市川市、流山市、船橋市
- ・委託者：千葉県

e 館山市インバウンドモニターツアー(台湾) 【新規】

館山市が推進して台湾や香港のからのインバウンド観光を推進するための、観光・体験を含めたモニターツアーを実施し、観光資源の掘起しやブラッシュアップを図るアイデアを聴取した。

- ・実施時期：令和元年 11 月 18 日（月）～21 日（木）
- ・内容：館山市に 2 泊して、市内の観光施設を訪問して特産品・食事等を体験してもらい、参加者からの意見を聴取するとともにメディアでの発信も実施。
- ・委託者：館山市

f 幕張メッセからの受託事業【新規】

幕張メッセとの連携強化及び今後の更なる誘致活動につながるが見込まれることから、下記事業を幕張メッセから受託した。

(a) 「第 18 回国際小児呼吸器学会」

- ・実施時期：令和元年 5 月 1 日(水)～6 月 30 日(日)
- ・受託業務：主催者（日本医科大学）及び運営事務局（仏・メディアアクサ社）と連絡調整、開催プログラムの集約・確認など
- ・委託者：幕張メッセ

(b) 「第 24 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会」

- ・実施時期：令和元年 5 月 1 日(水)～9 月 30 日(月)
- ・受託業務：演題登録管理・抄録集の編集、参加者事前登録システム管理、ホームページ・印刷物の監修、関係者への連絡・調整など
- ・委託者：幕張メッセ

イ 各種助成制度を効果的に活用した誘致・支援

(7) 県内開催 MICE に対する支援状況

MICE 主催者及び参加者に対し、開催地域や関係団体及び地元ボランティア等と連携して、千葉県の物産販売手配、日本酒販売・PR、地元アトラクション紹介、広報協力など、主催者のニーズに合った支援を実施した。

	ミーティング	インセンティブ	コンベンション	イベント ・展示会	合計
支援 MICE 件数	8	18	33	3	62

(イ) 助成金・貸付制度の運用

公共性及び経済波及効果の高いコンベンションに対して、審査会での決定を経て、コンベンション開催助成金の交付及びコンベンション開催準備資金貸付けを実施し、円滑な開催を支援した。

a コンベンション開催助成金の交付 (11 件 325 万円)

	会議名称	開催年月	参加者数 (うち海外)
1	International Symposium on Adsorption2019(Japan Adsorption2019)	令和元年 5 月	75 名 (26 名)
2	19th Symposium for Gene・Design and Delivery	令和元年 5 月	107 名 (8 名)
3	2019 年画像技術国際会議 (ICAI2019) および合同大会	令和元年 7 月	568 名 (26 名)
4	International Conference on Spatial Planning and Sustainable Development	令和元年 8 月	194 名 (44 名)
5	日本分析化学会 第 68 年会	令和元年 9 月	1200 名 (40 名)
6	IceCube Collaboration Fall Meeting2019	令和元年 9 月	180 名 (170 名)
7	第 31 回日本神経免疫学会学術集会	令和元年 9 月	450 名 (10 名)
8	第 63 回日本医真菌学会総会・学術集会	令和元年 10 月	550 名 (30 名)
9	Monoreilex2019-Chiba Japan (国際モノレール協会年次総会)	令和元年 11 月	52 名 (51 名)
10	第 56 回日本小児アレルギー学会総会	令和元年 11 月	2,000 名 (50 名)
11	日本放射線技術学会第 66 回関東支部研究発表大会	令和元年 12 月	600 名 (4 名)

b コンベンション開催準備資金の貸付け

会議名称	開催年月	参加者数 (うち海外)	貸付額	返済予定 期日
The 9th International Meeting on Relaxations in Complex Systems (コンプレックスシステムにおける緩和に関する国際会議)	令和 3 年 7 月	900 名 (600 名)	500 万円	令和 3 年 10 月

c 県・市の国際会議開催補助金制度の円滑な運用に向けた支援

MICE 誘致活動の中で「千葉県国際会議開催補助金制度」「千葉市国際会議開催補助制度」「千葉市大規模コンベンション開催補助制度」「千葉市 MICE 開催補助制度」及び「成田市コンベンション開催事業補助金制度」について制度の周知を図った。

(ウ) 重点 MICE 支援

区分	名称	開催時期	参加者数 (うち海外)	開催場所
C	日本地球惑星科学連合 2019 年大会	令和元年 5 月	8,390 名 (655 名)	幕張メッセ
	会期中のボランティア手配、会場でのインフォメーションデスクの設置、エクスカーションでチバニアン・SHIRASE を訪問するコースの支援を実施した。その後、チバニアンが「国際標準模式地」(GSSP) に認定され、エクスカーションへの活用や誘致活動等に弾みになることが期待される。			
C	第 18 回国際小児呼吸器 学会	令和元年 6 月	491 名 (409 名)	幕張メッセ
	県・千葉市国際会議補助制度、会期中のボランティア手配、会場でのインフォメーションデスクの設置、千葉市からのギブアウェイ等の支援を実施して、参加者、主催者へアピールを実施し、経済波及効果の拡大を図った。			
C	2019年画像技術国際会議 (ICAI2019) および合同 大会	令和元年 7 月	568 名 (26 名)	幕張メッセ
	当財団のコンベンション開催助成金による財務支援に加え、千葉市内観光、レストラン MAP 配布等により参加者の便宜を図るとともに開催都市への経済波及効果拡大を図った。			
I	健康食品販売会社インセン ティブ旅行(ベトナム)	令和元年 10 月	300 名 (300 名)	千葉市・成田市
	健康食品販売会社のインセンティブ旅行。バス代補助に加え、千葉市内にて開催のパーティー会場にチーバくんによる出迎えを実施した。			
C	国際モノレール協会年次 総会	令和元年 11 月	52 名 (51 名)	ホテル ザ・マンハ ッタン
	千葉都市モノレールと共催で「モノレール車両基地見学」と「モノレール・スカイウォーク・レセプション」を開催した。レセプションでは、津軽三味線やマジックショーのアトラクションとともに、太巻き寿司、落花生、地酒等で千葉の魅力を演出した。			

C	ID5 Annual Meeting 2019 第五回意匠五庁年 次会合(2019年)	令和元年12月	60名 (20名)	浦安市内ホテル
	千葉県国家戦略特区推進課の協力により、自動運転モビリティ商品（WHILL）紹介と試乗を実施。また、当財団の支援プログラムや浦安市観光ボランティアによる呈茶体験を提供。県内の最先端技術と伝統文化を組み合わせた支援を行った。			
E	FOODEX JAPAN2020 ※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	令和2年3月	85,000名 (5,000名)	幕張メッセ
	「FOODEX JAPAN2020」に参加する海外からの出展者及びバイヤーに対して、歓迎メッセージ、インフォメーションデスクの設置、ショッピングクーポン提供、アトラクションの提供、千葉県ナイトツアーの実施（概要は以下記載のとおり）、ポストコンベンションツアー（南房総市、香取市、いすみ市）等を実施することにより、千葉の魅力をもっとPRするとともに地元への経済波及効果拡大を図る体制を整えた。			

【千葉県ナイトツアー（正式名称“Hasuike” Night Tour）】

※新型コロナウイルスの感染拡大により中止

千葉市の補助事業である「千葉県ナイトタイムエコノミー推進事業」を活用して実施予定であった当財団主催のナイトツアーが新型コロナウイルスの感染拡大のため中止となった。

なお、当財団職員で、ナイトツアーで訪問予定であった千葉城や、かつての歓楽地であった「蓮池通り」を散策し、職員の資質向上を図った。

ウ 「千葉らしい」MICE 支援プログラムの開発及び拡充

千葉県で円滑に国際会議が運営できるように、国内外の主催者に対し、地元自治体・関連事業者・ボランティアの紹介や、ユニークベニューの開発・提案を行うなど、当財団がワンストップの窓口となり支援した。MICE 関連施設に対しても、会議の概要や主催者の希望などを丁寧に説明して、協力を得られるようにするなど、MICE 開催地としての千葉県の魅力向上に努めた。

種別	件数	内容
ボランティア紹介	5	主催者要望に基づく運営及び語学ボランティア手配
観光等資料提供	19	幕張新都心ガイドマップ及び県内観光案内資料等の提供、インフォメーションデスク設置

千葉県の物産販売手配・幹旋、地酒試飲コーナー設置	10	千葉県の名産・特産品・酒類・伝統工芸品等を賛助会員、県観光物産協会、県酒造組合等と連携して販売、PR
広報協力	4	大学や学校へのお知らせ、財団ホームページ等によるイベントや市民公開シンポジウム開催等の告知
アトラクション(演奏・演技等)提供及び紹介	14	浦安囃子、太鼓、千葉交響楽団、M☆スプラッシュ、柏ゴールデンホークス、三味線等
後援名義	5	後援名義の使用承認
出迎え	6	県職員との共同での出迎え、成田空港デジタルサイン等
ギブアウェイ提供	16	名入れボールペン、房総うちわ、菅原工芸硝子グラス等
その他	25	関係機関との連絡調整支援、関係者会合への出席、地元事業者紹介(宿泊、観光場所、企業訪問、ユニークベニュー等)、千葉市美術館招待券、大会当日運営支援、ツアー催行支援等

エ 国際会議観光都市との連携

グローバル競争に打ち勝つため、JNTO、国際会議観光都市及び各市のステークホルダーと連携し、MICE 開催へ結びつけるための誘致活動(見本市出展、キーパーソンの招聘等)を行った。

また、平成 30 年度から開催している国際会議観光都市連絡会議において、事業の進捗状況等の報告を行うとともに、意見交換を行った。

(ア) 国際会議観光都市連絡会議

a 第 1 回

- ・開催日 令和元年 5 月 21 日(火)
- ・会場 木更津市役所
- ・内容 開催の趣旨等概要説明
平成 30 年度事業報告及び令和元年度事業計画
意見交換

b 第 2 回

- ・開催日 令和元年 10 月 10 日(木)
- ・会場 浦安市音楽ホール
- ・内容 令和元年度事業進捗状況
意見交換

(イ) 駐日外交団の地方視察ツアー【新規】

- ・開催日 令和元年7月10日
- ・訪問先 神田外語大学、幕張メッセ、ウェザーニューズ、ファソテック、量子科学技術研究開発機構 等
- ・参加者 35名（駐日外交団34か国1機関）
- ・内容 外務省と当財団の共催で幕張を中心とした千葉県内の産業・学術・教育等の関連施設を訪問し、本県への理解を深めた。千葉県副知事による「千葉県の魅力紹介」のプレゼンテーションを実施したほか、昼食会では、千葉市長、神田外語大学長等の来賓が出席し、外交団との交流・意見交換が行われた。

(ウ) ビジット・ジャパン MICE マート (VJTM2019)

- ・開催日 商談会 令和元年10月24日（木）～26日（土）
VJTM 交流会 令和元年10月25日（金）
- ・会場 商談会 インテックス大阪 6号館3階Cゾーン
VJTM 交流会 ハイアットリージェンシー大阪
- ・参加社数 海外 Travel Mart バイヤー 282社
海外 MICE マートバイヤー 22社
海外メディア 22社

(エ) 令和元年度国際会議キーパーソン招請事業 (Meet Japan) における Meet Japan Study Tour (招請者の視察受入)

- ・開催日 令和元年12月10日（火）～11日（水）
- ・訪問先 千葉市、成田市、浦安市、木更津市（アクアライン）
- ・参加者 国際会議海外キーパーソン4名、JNTO 職員1名
- ・歓迎夕食会 地元関係者（千葉大学、神田外語大学、量子科学技術研究開発機構、JETRO 千葉、かずさ DNA 研究所、成田国際空港、ウェザーニューズ等）による歓迎夕食会を開催し、キーパーソンに直接千葉の魅力を訴求した。

(オ) 令和元年度国際会議キーパーソン招請事業 (Meet Japan) における商談会

- ・開催日 令和元年12月12日（木）
- ・会場 AP 東京丸の内 日本生命丸の内ガーデンタワー 3階
- ・参加状況 参加バイヤー数 15団体
本側商談会参加団体 20団体
(内訳： CVB 17団体、県2団体、協議会1団体)

(カ) 第29回国際 MICE エキスポ (IME2020)

- ・開催日 令和2年2月26日(水)
- ・会場 東京国際フォーラム 展示ホール(E2)
- ・主催 一般社団法人日本コンGRES・コンベンション・ビューロー (JCCB)
日本政府観光局 (JNTO)
- ・来場者数 バイヤー362名
(内 一般バイヤー 350名 ホステッドバイヤー12名)
セラー 314名

<令和元年度 JNTO 国際会議誘致・開催貢献賞(*)>

上記会場にて表彰式が併催され、「The 9th International Meeting on Relaxations in Complex Systems (コンプレックスシステムにおける緩和に関する国際会議) が表彰された。これは、日本初開催であること及び当財団と幕張メッセが連携し、競合都市では実現できないきめ細かなサービスを提案したことなどが評価されたもの。

(キ) JNTO インセンティブセミナー(台湾)

- ・開催日 令和元年8月4日(日)～9日(金)
- ・セミナー開催
令和元8月6日(火)(台中) 商談数20社(エバーグリーンローレル台中)
令和元8月7日(水)(台北) 商談数19社(シェラトングランド台北ホテル)
- ・個別訪問商談 22社

(ク) ちばビジネスデスティネーションセミナー(インド) **【新規】**

【当財団主催セミナー及び商談会】

- ・開催日 令和2年2月18日(火)～21日(金)
- ・セミナー開催 令和2年2月20日(木) デリー市：商談数17社
- ・個別訪問商談 5社

(ケ) ヨウ素学会発行のヨウ素紹介冊子制作への支援 **【新規】**

ヨウ素学会が中高生向けの小冊子を発行するにあたり、当財団が制作費の一部を負担し支援した。県内の中高生に広く配布することで、世界の25%のヨウ素の生産を誇る千葉県認知度の向上を図るとともに、ヨウ素への理解促進と当学会の研究活動等を支援し、ヨウ素に関する国際会議等の誘致に結び付けるための取組を行った。

オ その他の市町村との連携【新規】

地域振興事務所管内市町村会議に出席し、MICEやエクスカージョンの取組等を説明するなど今後連携を図っていくこととした。

- ・葛南地域：令和2年1月30日（木）
- ・海匝地域：令和2年2月20日（木）
- ・長生地域：令和2年3月17日（火）

(3) 誘致マーケティングの強化

ア 有力な MICE 誘致案件の情報収集・整理

平成30年度に構築したデータベースシステム（顧客管理システム）を活用し、これまでの開催実績、主催者情報、会議等の情報を分析し、マーケティング強化を図った。

また、インターネットによる情報や、関連団体である ICCA、MPI、SITE(*)、JNTO、JCCB(*)、大学・研究機関関係者、学会、協会等から得た開催情報等を収集・整理し、誘致活動につなげた。

イ グローバル MICE 都市事業

観光庁が選定したグローバルMICE都市12都市が、それぞれの知見や先進的取組、直面する諸課題等について共有しながら、国全体のMICE誘致・開催の競争力強化を進めていくことを目的に設置された「グローバル MICE 都市・都市力強化対策本部（平成29年11月観光庁）」に千葉県及び千葉市とともに参加し、意見交換、情報共有を行った。

(7) 第4回グローバルMICE都市力強化対策本部

- ・日 程 令和元年5月29日（水）
- ・会 場 AP 虎ノ門
- ・参加者 グローバルMICE都市12都市、経済産業省、JNTO、JETRO
- ・主 催 観光庁

(4) 第5回グローバルMICE都市力強化対策本部

- ・日 程 令和元年11月25日（月）
- ・会 場 AP 東京 八重洲
- ・参加者 グローバルMICE都市12都市、経済産業省、JNTO、JETRO
- ・主 催 観光庁

ウ 県内で開催される MICE 関連統計の整備

県内で開催される国際会議(C)の件数、種別、参加人員等のデータを都市別、施設別に担当者を配置して確実にデータ収集を行い、県内での開催状況の把握に努めた。

統計調査を積極的に行うことにより、MICE 誘致を促進するばかりでなく、調査対象となるステークホルダーとの連携強化を図った。

エ 総会・研修会・セミナー参加、各種団体への加入

観光庁、JNTO、JCCB、MPI、大学、及び各種団体等の会議・セミナー等へ参加した。職員がその専門性や能力に合わせて初任者向け、プレゼンテーションスキルアップなどの各種研修やセミナー等に参加し、併せて最新の MICE 動向に関する情報収集や人的ネットワークの拡充を図った。また、各種ビジネス交流会に積極的に参加し、特に国際的な企業ミーティングの情報を収集し、新規顧客を開拓した。

(4) MICE 適地「千葉」ブランドの確立

千葉のブランドイメージ確立のため、千葉県の有する魅力ある MICE 資源の情報収集に努めるとともに、各種媒体を活用して国内外への情報発信を行った。

ア 「千葉」ブランドの確立

(ア) 広報媒体等（和文及び英文）を活用した千葉ブランドの発信

a プロモーションビデオの作成【新規】

財団設立 30 周年事業として、国際会議のみならずインセンティブ旅行の誘致等に対応するためのプロモーションビデオを作成した。今後、国内外で開催される展示会・商談会・セミナー等で効果的に活用し、千葉への誘致・開催に結び付くよう働きかけていく。

b 財団ホームページの活用

ホームページに MICE 施設の概要、イベントカレンダーなど MICE に関する情報を掲載し、主催者や広く一般に対して MICE 開催地としての千葉県の魅力や利便性を PR した。

財団の 4 事業（①MICE、②国際交流、③フィルムコミッション、④スポーツコンシェルジュ）を分かりやすく紹介し、閲覧者に必要な情報を提供するなど、MICE 適地「千葉」の魅力発信の強化を図った。

c 英文ニュースレター

「Chiba Update」を四半期ごとに発行し、財団の活動や千葉の魅力を海外のメディアや主催者に電子メールで配信した。

なお、「Ice Cube Collaboration Fall Meeting2019」、「Monorailex2019」等が海外メディアに掲載された。

d SNS(ツイッター)を利用した広報

ツイッターを運用して、和文、英文ともに MICE や千葉に関するタイムリーな情報を積極的に提供した。投稿回数 162 回

e 自治体及び大学と連携した広報【新規】

日本初開催となった「Ice Cube Collaboration Fall Meeting2019」について、千葉大学と合同でプレスリリースを行った。

f 賛助会員向けニュースレターの発行

賛助会員を対象として、四半期ごとに事業報告を行った。また、千葉県で開催される MICE 誘致・支援活動状況や、メディア掲載情報、「千葉 MICE Day」の開催報告などのビジネスチャンスにつながる情報を積極的に配信した。

g MICE 開催に関するプレスリリース

(a) プレスリリース

- ・「千葉 MICE Day」開催
- ・Monorailex 2019
- ・JpGU Meeting 2019
- ・IceCube Collaboration Fall Meeting 2019

(b) メディア掲載

- ・千葉日報、読売新聞、読売オンライン、NHK、千葉テレビ、J:COM TV、MICE JAPAN、JNTO ニュース、MICE in Asia、Mix Meeting、ICCA 等

h 千葉県内で開催する MICE のホームページとのリンク

- ・JpGU Meeting 2019
- ・第 2 回国際ショナルロウフルートフェスティバル

i 地元教育機関への協力

地元の高校や大学に通う学生に向け、当財団が MICE 事業の概要についての講義を行うなど、将来の専門性や興味、関心と結び付けながら地域思考の教育活動を通じ、社会貢献に取り組んだ。

イ 千葉県フィルムコミッション運営事業（受託事業）

映像産業を通して、千葉県の知名度、情報発信、文化の向上を図り、観光客の来葉促進等に寄与するよう千葉県が実施するフィルムコミッション運営事業を受託し、千葉県のフィルムコミッションの総合窓口として、次の事業を実施し、新しい形の「MICE エリア千葉」の情報発信を行った。

(7) 映像関係者に対するロケーション撮影及びロケ地に関する情報提供、相談業務、その他の撮影支援

a 令和元年度撮影支援実績

カッコ書き()は昨年度の件数

内容	受付件数	撮影依頼件数	
		うち県内撮影件数(*)	
件数	2,550件 (2,425件)	258件 (260件)	63件 (67件)

(*)目標件数 48件

b 令和元年度 主な撮影支援作品

媒体	タイトル	撮影地
映画	ブラック校則	茂原市
	屍人荘の殺人	君津市
	明日、キミのいない世界で	大多喜町
テレビドラマ	NHK 大河ドラマ「いだてん」	千葉市
	日本テレビ「俺のスカートどこ行った」	市川市
	WOWOW「アフロ田中」	野田市
	テレビ朝日「おっさんずラブ in the sky」	四街道市
	テレビ朝日「仮面ライダーゼロワン」	香取市
	フジテレビ「監察医・朝顔」	市原市、富津市
	TBS「4分間のマリーゴールド」	千葉市、富津市、習志野市、
	フジテレビ「ほんとにあった怖い話『汲怨のまなざし』」	印西市
	TBS「G線上のあなたと私」	八千代市、船橋市
	テレビ朝日「時効警察はじめました」復活スペシャル	富里市、九十九里町
	テレビ朝日「サイン」	習志野市、船橋市、千葉市
	日本テレビ「探偵が早すぎる SP」	市川市

CM	ホットペッパービューティーWEB 動画	富里市
その他	フジテレビ「芸能人が本気で考えた！ドッキリ GP」	多古町

(イ) フィルムツーリズムの推進

a 県民の日「ワクワクフェスタ 2019」出展【新規】

- ・アニメ映画「キミと、波にのれたら」およびNHK大河ドラマ「いだてん」のロケーション風景パネルの展示を実施した

b ドラマ「Dimension ハイスクール」タイアッププロモーション展開

- ・ロケ地マップチラシ制作、配布（アニメイト SHOP、勝浦市内等で配布）
- ・番組にちなんだクイズキャンペーンを実施し、正解者に番組オリジナルグッズをプレゼント（商品引換を勝浦観光協会で実施）
- ・出演者の等身大パネルを作成、勝浦市内ロケ地で記念写真撮影促進

c ホームページでの撮影支援作品およびロケ地紹介

- ・「Dimension ハイスクール」、「いだてん」等の補助金対象作品および大型作品の特設サイト制作
- ・令和元年度の主要な撮影支援 27 作品の特設ページ作成・発信

d 関東圏フィルムコミッション協議会共同プロモーション【新規】

- ・映画「翔んで埼玉」の 1 都 6 県共同プロモーション（丸の内 KITTE にてイベント実施）が、ジャパンフィルムコミッション・アワード年間優秀賞を共同受賞し、本県ロケ地の魅力が PR された。

(ウ) 市町村での撮影に関する調整、実績調査、その他市町村のフィルムコミッション設立を促進するための会議等の開催

a 令和元年度千葉県内映画・ドラマ等撮影実績調査の実施（年 2 回）

※対象 県内全市町村

- ・第 1 回：平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 9 月 30 日
- ・第 2 回：令和元年 10 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

b 令和元年度フィルムコミッション市町村担当者会議の実施

- ・開 催 日：令和元年 6 月 3 日
- ・会 場：千葉商工会議所（千葉市）
- ・参加者数：44 市町村 49 名

(I) 千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金

千葉県の様々な魅力を広く発信し、知名度の向上、県内の経済活性化及び観光客誘致を図ることを目的に、映画等の撮影を行う制作会社等に対して、ロケーション費用を助成する千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金に係る事務を行った。

(補助対象作品)

- ・映画(2作品) 「新解釈三國志」、「弱虫ペダル」
- ・ドラマ(1作品) 「浦安鉄筋家族」

(5) 地域活性化への貢献

ア 県内の活性化

(ア) 幕張新都心の活性化

幕張新都心の活性化に関しては、冬イルミネーションの開催について、実行委員会の設立当初から、新都心初の海浜幕張駅前広場(南、北口)でのイルミネーションの開催に至るまで支援活動を行った。

<開催期間>: 11月1日(金)~1月26日(日)(87日間)

また、幕張新都心賑わいづくり研究会(サマーソニック2019、千葉市花火大会、幕チャリ等)や幕張メッセ関連企業懇談会(マクハリの粋祭り2019、第4回JBCF幕張新都心クリテリウム等)の活動を支援した。

(イ) La Festa Mille Miglia (ラ・フェスタ・ミッレミリア) 2019 支援

1都9県を走る国際クラシックカー公認の祭典。主催者及び県内ルート(成田⇒芝山⇒一宮⇒市原⇒木更津)の関係市町と連携し、県内ルートの設定とメディアへのPRを行った。また、車両に財団設立30周年の特別ロゴ入りステッカーを掲示した。

<開催期間> 10月25日(金)~10月28日(月)

(県内走行日: 10月27日、28日)

イ 千葉ロッテマリーンズかもめ会事業

平成16年発足以来、初の大幅な役員交代があり、引き続き安定した運営を行った。また、激励観戦会、会員の総会・集い、機運醸成、石垣島キャンプ激励訪問などを実施した。

2 国際交流・国際協力の促進と多文化共生社会づくり

(1) 多文化共生のためのネットワーク化事業

ア 国際交流ボランティア運営事業

(7) 国際交流ボランティア制度の運営

国際交流事業への積極的な参加を希望する県民を対象に、ホームページ等で常時呼びかけ、次のカテゴリーでボランティアを登録し、活動の場を紹介した。

令和元年度は、スポーツコンシェルジュと連携し、世界柔道選手権、千葉 2019 ワールドテコンドーグランプリ、Mastercard Japan Championship や、Zozo Championship などの国際ゴルフツアートーナメント、オランダ陸上選手団事前キャンプ等 12 件のスポーツ大会等において計 237 名の語学ボランティアが通訳として活躍した。海外の競技団体の県内視察時には、通訳ボランティアが同行し、千葉県の誘致活動に貢献した。

また、MICE 関連では、「日本地球惑星科学連合 2019 年大会」、「第 18 回国際小児呼吸器学会」、「2019 International Conference on Nanotechnology for Renewable Materials」等の国際会議における会場案内、および国際会議海外キーパーソン招請事業 (Meet Japan) では歓迎夕食会の通訳等 7 件の事業に 62 名の語学ボランティアが参加した。

なお、病院における医療通訳や学校の保護者面談の通訳等、在住外国人支援に係る通訳・翻訳の依頼も多く、状況に応じた語学ボランティアのコーディネートを実施している。

【語学ボランティア】

通訳や翻訳等、語学を通じて国際交流を図るもの

- ・登録者数：1,877 名
- ・紹介件数： 75 件 (445 人(多文化共生サポート制度該当分を含む))

【ホストファミリーボランティア】

外国人を家庭に招待して国際交流を図るもの

- ・登録者数：346 家庭
- ・紹介件数： 3 件(31 家庭)

【文化ボランティア】

趣味、特技、外国生活体験等を生かして国際交流を図るもの

- ・登録者数：257 名
- ・紹介件数： 0 件

【日本語ボランティア】

外国人と日本語によるコミュニケーションを通じ国際交流を図るもの

- ・登録者数：153名
- ・紹介件数：1件（22名）

【事業ボランティア】

イベントの支援や災害時の外国人支援を通じ国際交流を図るもの

- ・登録者数：125名
- ・紹介件数：1件（延べ6名）

（参考）国際交流ボランティア数の推移

種別	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
語学（人）	1,146	1,349	1,579	1,764	1,877
ホストファミリー （家庭）	339	332	335	344	346
文化（人）	248	253	255	259	257
日本語（人）	109	121	126	146	153
事業（人）	54	73	88	96	125
計（延べ）	1,896	2,128	2,383	2,609	2,758

（イ）多文化共生サポート制度の運営

医療、保健、福祉、教育等の生活支援を要する在住外国人に対し、語学ボランティアを紹介するとともに、必要に応じ、ボランティア活動費の支援を行った。

- ・紹介件数：37件（うち活動費等の負担件数2件）

イ 多文化共生ボランティア養成研修事業

（ア）日本語ボランティア事業

a 日本語ボランティア基礎講座

在住外国人の日本語学習をサポートしながら交流しようとする県民や県内のボランティアを対象に、必要となる基礎的な知識や素養を養うための講座「日本語ボランティア基礎講座」をいすみ市及び千葉市で実施した。

あわせて、ボランティア不足解消のため、日本語教室と受講者のマッチング事業も実施した。

<いすみ会場（全4日）>

- (a) 開催日：令和元年7月12日（金）・19日（金）・26日（金）・
8月2日（金）
- (b) 会場：いすみ市大原文化センター研修室

<千葉会場（全4日）>

- (a) 開催日：令和元年11月30日（土）・12月7日（土）・14日（土）・
12月21日（土）
- (b) 会場：当財団研修室

<いすみ会場・千葉会場共通>

- (c) 講師：矢崎理恵氏
(社会福祉法人さぽうと21学習支援室コーディネーター)
萬浪絵里氏
(千葉市国際交流協会委嘱日本語教育コーディネーター)
樋口万喜子氏
(NPO日本語・教科学習支援ネット代表)
- (d) 参加者数：59名

b 日本語ボランティア・スキルアップ講座

県内で活動する日本語ボランティアや関心のある県民を対象に、在住外国人への日本語指導に向けた更なる資質向上を目指すための実践的な講座(児童・生徒向け、成人向け)を、日本語指導者等を招いて開催した。児童・生徒対象の活動についての講座は従来どおり千葉県国際交流センターで実施し、成人対象の活動についての講座はニーズの高かった印西市にて行った。

<児童・生徒対象の活動について>

- (a) 開催日：令和元年11月17日（日）
- (b) 会場：当財団研修室
- (c) 講師：頼田敦子氏
(横浜市教育委員会日本語講師、NPO日本語・教科学習支援
ネット副理事)

<成人対象の活動について>

- (a) 開催日：令和元年12月13日（金）

(b) 会 場：印西市中央公民館視聴覚室

(c) 講 師：宿谷和子氏

(にほんごの会企業組合理事、星美学園短期大学 非常勤講師)

<参加者数>

(d) 参加者数：87名

(イ) コミュニティ通訳研修

日ごろ県内の在住外国人から相談等に応じている語学ボランティアなどを対象に、外国人が生活する上で必要となる基本的事項（出入国や戸籍等に係る行政手続など）や年金制度並びに社会福祉制度について学ぶ研修を専門家等を招いて実施した。

a 開催日：令和元年11月1日（金）・8日（金）・22日（金）・29日*（金）

※豪雨災害により10月25日から11月29日に順延

（全4日）

b 会 場：当財団研修室

c 講 師：広瀬理夫氏（弁護士）

建山宜行氏（東京出入国在留管理局）

菊池麻由子氏（社会保険労務士）

林 偉明氏（千葉県精神保健福祉センター）

d 参加者数：68名

(ウ) 通訳ボランティア養成講座（受託事業）

東京オリンピック・パラリンピックに向け支援体制の充実を図るため、また、県内の在住外国人の支援を担う人材を育成するため、通訳ボランティア養成講座を開催した。

<令和元年度の開催状況>

	開催日	開催場所	参加人数
第1回 (全2日)	令和元年 8月31日（土）	当財団研修室	33名
	〃 9月7日（土）	〃	
	【講師】独立行政法人日本スポーツ振興センター 千田 健太 氏 株式会社ちばぎん総合研究所 小松 孝之 氏 ベルリッツ・ジャパン株式会社 各派遣講師		
第2回 (全2日)	令和元年 9月28日（土）	当財団研修室	28名
	〃 10月5日（土）	〃	
	【講師】公益財団法人全日本柔道連盟 蒲原 光一 氏 株式会社ちばぎん総合研究所 小松 孝之 氏 ベルリッツ・ジャパン株式会社 各派遣講師		

第3回 (全2日)	令和元年 10月24日(木) 〃 10月31日(木)	東金市役所 〃	27名
	【講師】パラリンピック走り幅跳び 渡邊 紫帆 氏 株式会社ちばぎん総合研究所 小松 孝之 氏 ベルリッツ・ジャパン株式会社 各派遣講師		
第4回 (全2日)	令和元年 11月13日(水) 〃 11月20日(水)	市川市 アイ・リンク 〃	37名
	【講師】一般社団法人全日本テコンドー協会 高木 伸幸 氏 株式会社ちばぎん総合研究所 小松 孝之 氏 ベルリッツ・ジャパン株式会社 各派遣講師		

ウ 国際理解セミナー事業

(7) 国際理解セミナー

県民、県内の民間交流団体や学生等を対象に、国際理解の促進、グローバル人材の育成、国際交流・協力活動の促進等に役立つ講座を、専門家等を招いて実施した。

(a) 第1回

- ・開催 日：令和元年8月19日(水)
- ・会 場：手賀の丘少年自然の家
- ・講 師：中村沙絵氏(旭ヶ丘母子ホーム勤務・JICA 青年海外協力隊OB トンガ王国派遣/音楽療法)
- ・内 容：講演「マーレイ！南の島、トンガ王国へようこそ
～今すぐ始めてみよう国際協力～」
- ・参加者数：88名
*千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会との共催により開催

(b) 第2回

- ・開催 日：令和元年10月28日(月)
- ・会 場：千葉市文化センター
- ・講 師：アンジェロ・イシ氏(武蔵大学社会学部教授)
- ・内 容：講演「外国人も日本人も暮らしやすい社会とは～
“在日ブラジル人一世”からのラブコール～」
- ・参加者数：98名
*千葉県との共催により開催した国際交流・協力等ネットワーク会議において実施

(c) 第3回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・開催予定日：令和2年2月29日（土）
- ・会場：千葉市文化センター
- ・講師：大津司郎氏（フリージャーナリスト）
- ・内容：講演「メディアで報道されない本当のアフリカ ～ジャーナリストが語るアフリカ紛争地から日本が学ぶべきこと～」

*JICA 教師海外研修授業実践報告会と同時開催

(イ) 国際協力パネル展

国際協力や国際理解の意識を高めるため、関係機関と合同でパネル展を実施した。

- ・開催日：令和元年7月2日（火）～8日（月）
- ・会場：そごう千葉店ギャラリー
- ・内容：国際協力活動等を紹介したパネル展

*千葉県、JICA 東京、千葉県ユニセフ協会との共催により実施

(ウ) 国際フェスタCHIBA

国際交流・協力事業への県民理解を深めるとともに、国際交流・協力団体間のネットワーク化を図るため、関係団体等と連携して啓発イベントを実施した。

- ・開催日：令和元年5月19日（日）
- ・会場：神田外語大学
- ・内容：民間団体の国際交流・協力活動紹介及び英語落語・ちば出前講師による母国紹介&アクティビティ、世界の料理や民芸品の販売等
（主催団体のほか、民間団体、学生団体など29団体が参加）
- ・来場者数：1,400名

*学生ボランティア団体である神田外国語大学CUP主催の「第15回幕チャリ」、神田外語大学主催の「コミュニティ・オープンデイ」等と同時開催

エ ちば出前講座

県民の国際理解や国際協力への意識啓発等を図るため、在住外国人や青年海外協力隊OBを講師として団体や学校、公民館などへ派遣し、出身国や開発途上国での体験等を伝える講座を、JICA（国際協力機構）と連携して実施した。

- ・件数： 77件（JICA講師 36件 在住外国人講師 41件）
- ・派遣講師： 113人（JICA関係者 54人 在住外国人 59人）
- ・受講者数： 9,438人（JICA講師分 7,022人 在住外国人講師分 2,416人）
- ・講師登録者数： 383人（JICA関係者 124人、 在住外国人 259人）

オ 様々な主体との交流・調整事業

(7) 国際交流・協力等ネットワーク会議

県内の民間交流団体や地域の国際交流協会等を対象に、千葉県国際交流センターによる実施事業の周知や、団体活動に関する情報交換、意見交換を図るための会議を開催し、団体相互の連携の促進と、地域におけるネットワーク化を推進した。

- a 開催日：令和元年10月28日（月）
- b 会場：千葉市文化センター
- c 内容：
 - (a) 令和元年度事業について
（千葉県国際課、千葉県国際交流センター、JICA 東京、東京出入国在留管理局）
 - (b) 事業の事例紹介等3団体が発表
*千葉県と共催により実施
 - (c) 分科会
 - 1班 国際交流協会の運営について
 - 2班 地域の外国人と日本人との交流について
 - 3班 SDGs の実践について
- d 参加者数：41名

(4) 相談事業意見交換会

日ごろ県内の在住外国人からの生活相談等に応じている市町村や市町村国際交流協会等の相談担当者を対象に、相談に役立つ講演や情報の共有及び意見交換を行い、県内全域でのネットワークの強化を図った。

- ・開催日：令和元年6月25日（火）
- ・会場：当財団研修室
- ・講師：東京出入国在留管理局 杉本律子氏、安本大輔氏
- ・内容：(a) 講義 在留資格「特定技能」（新制度の概要）
外国人材の受入れ、共生のための施策等について
- (b) 市町村・民間団体の外国人相談窓口開設の現況について
- (c) 情報交換

- ・参加者数：25名
- ＊千葉県と共催により実施

(ウ) 外国につながる子供のための日本語ボランティアの集い

県内において、日本語を母語としない外国人児童等へ日本語指導を行っているボランティアなどを対象に、活動に役立つ情報の提供や、意見交換等を図るための会議を例年行っており、以下のとおり実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止した。

- ・開催予定日：令和2年3月13日（金）
- ・会場：当財団研修室
- ・講師：海老名みさ子氏
(NPO法人「外国人の子どものための勉強会」理事長)

(イ) 各種関係機関・団体との連携

a 法人・任意団体の運営への参画

次の法人又は任意団体の構成員（理事、評議員）として、国際交流・国際協力の推進に参画した。

- (a) 公益財団法人千葉市国際交流協会
- (b) 千葉県ユニセフ協会
- (c) 千葉ウイスコンシン協会
- (d) 幕張インターナショナルスクール

b 関係機関との情報交換等

次の会議等において、関係機関と情報交換・意見交換等を行った。

- (a) 千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会総会
- (b) 多文化共生社会づくり連絡協議会
- (c) 地域国際化協会連絡協議会総会、幹事会、職員国内研修
- (d) 関東地域国際化協会連絡協議会情報交換会・作業部会
- (e) 関東弁護士会連合会懇談会
- (f) 2020年東京オリンピック・パラリンピック CHIBA 推進会議
(「外国人受入体制専門部会」、「機運の醸成・国際交流の促進専門部会」、「都市ボランティア分科会」)

c インターンシップの受入れ

学生の職業意識の向上及び国際交流・協力に関する理解促進を図るため、県内の大学から2名の学生を受け入れた(8月26日～30日)。

d 後援名義による支援

県内の国際交流団体等が実施する 12 の国際交流関係事業に対し、後援名義の使用承認を行った。

e イベント等への参加協力

次のイベント等に参加、協力した。

(a) 令和元年度英語・日本語弁論大会（千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会）

① 開催日：令和 2 年 1 月 22 日（水）

② 会 場：千葉市民会館

(b) 日本貿易振興機構アジア経済研究所開発スクール入学式・修了式

(c) 千葉県日中友好協会新年祝賀会

カ 国際交流サロンの提供

県民や県内の民間交流団体等に対し、国際交流・協力活動や、研修・交流・国際関連情報提供等の場となる国際交流サロン（当財団研修室や資料コーナー等）を提供して活動を支援した。（研修室利用累計：116 回 922 人）

（令和 2 年 3 月以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サロンの貸し出しを停止）

(2) 情報提供事業

ア 会報「国際交流つうしん」の発行等

(7) 会報「国際交流つうしん」の発行

千葉県国際交流センターの事業や、県内の民間交流団体の活動等の紹介し、国際交流、国際協力、多文化共生等に関する意識啓発や活動促進などにつなげた。

また、平成 29 年度より開始した、オリンピック・パラリンピック関連記事の連載を継続し、3 月に発行した第 100 号をもって県内で開催される全ての競技について紹介した。（年 3 回発行、各 10,000 部発行、ホームページにも掲載、対象は県民や県内の民間交流団体、ボランティア等）

(4) 「国際交流伝言板」の発行・配信

県内の民間交流団体や行政機関等による国際交流等関係事業（イベント・募集事業等）を「国際交流伝言板」として取りまとめ、県民や在住外国人、県内民間交流団体等に対し、4 か国語（日・英・中・スペイン）により発行するとともに、ホームページ上で随時情報提供を行った。

あわせて、県内の民間交流団体等によるボランティア募集情報を収集した「ボランティア募集！伝言板」についても、紙媒体での提供やホームページでの掲載を行った。

(ウ) ホームページによる情報提供

県民や在住外国人、県内の民間交流団体等への迅速かつ有益な情報源とするため、千葉県国際交流センターのホームページ及び Facebook に、多言語ややさしい日本語で、次のような内容を掲載した。

(主な内容)

- ・外国人のための生活情報、相談窓口、災害関連情報、国際交流ボランティア制度、県内の民間交流団体や日本語教室、国際協力情報、国際フェスタなどのイベント情報、オリンピック・パラリンピック関連情報、会報 など

(エ) メーリングリストの運営

県民や県内の民間交流団体、ボランティア等が、国際交流・協力等に関する情報を交換するため、メーリングリストを運営した。

(令和元年 11 月終了。イベント情報発信は、Facebook へ移行)

イ 千葉県外国人学生住居アドバイザー事業

県との協同により、県内に在住を希望する外国人学生の住居確保を支援するため、(一社)千葉県宅地建物取引業協会及び(公社)全日本不動産協会千葉県本部の推薦に基づき 42 店舗が千葉県住居アドバイザーとして選任され、住宅に関する情報提供や助言を行った。

(3) 在住外国人支援事業

ア 千葉県総合相談事業(受託事業)【一部新規】

在住外国人が安全で快適な生活を送ることができるよう、総合的な相談窓口として行っている千葉県外国人相談について、対応言語数を 7 月 1 日より 13 言語に拡充した。

- (ア) 対応言語：日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語・ベトナム語・タガログ語・ネパール語・タイ語・インドネシア語・ロシア語・ヒンディー語
- (イ) 相談件数：1,223 件
- (ウ) 相談内容(上位 5 位)
- ① 出入国 ② 渉外戸籍 ③ 就労 ④ 法律・諸制度 ⑤ 人権・身の上

(エ) 相談者国籍（上位5位）

- ①日本（注） ②ペルー ③中国 ④フィリピン ⑤アメリカ

（注）外国人の代理として、配偶者、知人、通訳等が相談するケース
外国人への対応に関して日本人が相談するケース 等

（参考）外国人テレホン相談の状況

種別	年度					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
件数（件）	993	1,031	828	1,026	1,223	
相談内容 （上位5位）	1位	出入国	出入国	出入国	出入国	
	2位	就労	涉外戸籍	就労	就労	
	3位	法律諸制度	医療	医療	涉外戸籍	
	4位	涉外戸籍	就労	涉外戸籍	法律諸制度	
	5位	各種案内	教育	法律諸制度	医療	
相談者の国籍 （上位5位）	1位	日本	日本	ペルー	日本	
	2位	ペルー	ペルー	日本	ペルー	
	3位	中国	中国	中国	フィリピン	
	4位	フィリピン	フィリピン	フィリピン	中国	
	5位	米国	キューバ	イギリス	アメリカ	

イ 在住外国人のための無料法律相談（受託事業（一部））

在住外国人が地域社会で日常生活を送る際に抱える法律的な問題の解決を支援するため、千葉県弁護士会・千葉県行政書士会と連携して行っている無料法律相談を年12回から15回に拡充した。（原則第一月曜日）。

- (ア) 開催日：令和元年 4月8日、5月13日、6月3日、7月1日、7月20日、8月5日、9月2日、10月7日、10月26日、11月11日、12月2日、令和2年1月11日、2月3日、3月2日、3月23日
奇数月は行政書士を含む

- (イ) 会場：当財団研修室等

- (ウ) 相談者数：67名

ウ 緊急時支援

千葉県に住み、働き、学ぶ誰もが安心して日々の生活を送れるよう、災害など緊急時の支援のため、次の事業を実施した。

(ア) 災害時外国人サポーター養成講座

市町村、市町村国際交流協会及びボランティア団体等と連携し、災害発生時に支援者として活躍できるサポーターを養成する研修を、千葉県等と共催で開催した。年1回から3回に拡充し、野田市、千葉市、佐倉市にて実施した。

<野田市>

- ・開催日：令和元年7月6日（土）
- ・会場：野田市役所
- ・講師：高橋伸行氏ほか（多文化共生マネージャー）
- ・参加者数：42名（ボランティア35名、外国人7名）

<千葉市>

- ・開催日：令和元年11月7日（木）
- ・会場：千葉県自治会館
- ・講師：高橋伸行氏ほか（多文化共生マネージャー）
- ・参加者数：20名（市町村職員13名、外国人7名）

<佐倉市>

- ・開催日：令和2年2月1日（土）
- ・会場：佐倉市立臼井公民館
- ・講師：高橋伸行氏ほか（多文化共生マネージャー）
- ・参加者数：46名（ボランティア38名、外国人8名）

(4) 災害時の外国人支援

県内各地に大きな被害をもたらした、台風15号・19号、そのほか大雨等に対応するため、通常は平日のみ実施している千葉県外国人相談を土曜日・日曜日（6言語：日・英・中・韓・ポルトガル・スペイン）においても臨時相談窓口として開設した。

また、フェイスブックやホームページで、災害に関する情報を「やさしい日本語」や「多言語」で提供したほか、自治体などへの翻訳支援などを行った。

3 庶務事項

(1) 組織

ア 理事会・評議員会・監事

定款に従い、当財団の議決機関として理事会・評議員会を、予算執行等の監査機関として監事を設置している。

令和2年3月31日現在、理事14名・評議員20名・監事3名が就任している。

<理事会・評議員会・監査の開催経過>

会 議	開催日・会場	議 題
第1回理事会	令和元年5月24日(金) ホテルポートプラザちば	1 平成30年度事業報告及び決算(案)について 2 基本財産の指定について 3 名誉会長の委嘱について 4 評議員の選任について 5 役員の選任について 6 定時評議員会(令和元年度第1回評議員会)の招集について (報告事項) 1 代表理事、業務執行理事の職務の執行の状況の報告
第2回理事会	令和元年6月11日(火) 書面評決	1 代表理事の選定について 2 業務執行理事の選任について
第3回理事会	令和元年6月28日(金) 書面評決	1 重要な使用人の選任について
第4回理事会	令和元年12月27日(金) 書面評決	1 評議員の選任について 2 役員の選任について(2件) 3 評議員会(令和元年度第2回評議員会)の招集について
第5回理事会	令和2年3月12日(木) 当財団研修室	1 令和2年度事業計画及び予算(案)について 2 令和元年度第1回補正予算(案)について 3 評議員の選任について 4 令和元年度第3回評議員会の招集について (報告事項) 1 代表理事、業務執行理事の職務の執行の状況の報告

会 議	開催日・会場	議 題
第 1 回評議員会	令和元年 6 月 11 日(火) 三井ガーデンホテル千葉	1 平成 30 年度事業報告及び決算(案)について 2 評議員の選任について 3 役員の選任について (報告事項) 1 名誉会長の委嘱について 2 基本財産の指定について
第 2 回評議員会	令和 2 年 1 月 17 日(金) 書面評決	1 評議員の選任について 2 役員の選任について (2 件)
第 3 回評議員会	令和 2 年 3 月 23 日(月) 当財団研修室	1 令和 2 年度事業計画及び予算(案)について 2 令和元年度第 1 回補正予算(案)について 3 評議員の選任について

監 査	開催日・会場	議 題
平成 30 年度監査	令和元年 5 月 15 日(水) 当財団研修室	業務監査 会計監査

イ 賛助会員組織

令和 2 年 3 月 31 日現在の正会員数は 315、国際交流会員数は 823 であり、その内訳は、次のとおりである。

正会員 団体 313 個人 2
国際交流会員 団体 92 個人 731

<令和元年度新規加入賛助会員>

(ア) 正会員 (入会順) 団体 9 個人 0

■ 団体会員

1	株式会社エム・ケイ
2	ベッセルイン千葉駅前
3	株式会社感動舎
4	株式会社ワールドジョイントコーポレーションジャパン
5	トーセイホテルアンドセミナー幕張
6	株式会社写楽館
7	株式会社 PEJ
8	アマンダンセイル
9	日東交通株式会社

(イ) 国際交流会員 団体 1、個人 111

(参考) 過去の賛助会員数の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
賛助会員数	975	1,043	1,131	1,152	1,138
正会員	345	345	358	352	315
団体会員 (団体)	343	331	355	350	313
個人会員 (人)	2	3	3	2	2
国際交流会員	682	642	773	800	823
団体会員 (団体)	97	96	97	95	92
個人会員 (人)	545	501	676	705	731

ウ 事務局

令和 2 年 3 月 31 日現在の事務局体制は、代表理事以下 37 名（嘱託 10 名含む）である。

(2) 規程の改正

職員の就業規則・給与等に係る規定改正を次のとおり行った。

平成 31 年 4 月 1 日改正

規程等名称	主な改正内容等
就業規則	県に準じた介護休暇の有給化
嘱託等取扱要綱	就業規則に準じて介護休暇を有給化

令和 2 年 1 月 10 日改正

規程等名称	主な改正内容等
職員給与規程	県に準じた給料表等の改正 (平成 31 年 4 月 1 日からの遡及適用)

(3) 時差出勤の導入

新型コロナウイルスの感染拡大防止及び職員の安全確保のため、令和 2 年 3 月 3 日から時差出勤を導入した。

(時差出勤の内容)

職員の希望に応じて、就業時間を 30 分繰り上げ又は繰り下げを認めるもの。

※附属明細書について

補足すべき重要な事項はないので、附属明細書は作成していない。

用語解説

(*)MICE (マイス)

企業等の会議 (Meeting) , 企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel) , 国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention) , イベント、展示会・見本市 (Event/Exhibition) の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

(*)国際会議観光都市

国際会議施設、宿泊施設などのハード面やコンベンションビューローなどのソフト面での体制が整備されており、コンベンションの振興に適すると認められる市町村を、市町村からの申請に基づき、観光庁長官が国際会議観光都市として認定する制度。日本全国で 53 箇所あり、千葉県では千葉市・成田市・木更津市・浦安市の 4 市

(*)JNTO

Japan National Tourism Organization (独立行政法人 国際観光振興機構 (通称日本政府観光局)) の略。

海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的としている。

(*)JNTO 基準の国際会議：次の(1)～(4)を全て満たす会議

- (1)主催者：国際機関・国際団体 (各国支部を含む) 又は国家機関・国内団体 (各々の定義が明確ではないため「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く全てが対象)
- (2)参加者総数：50 名以上
- (3)参加国：日本を含み 3 か国以上
- (4)開催期間：1 日以上

(*)令和元年度 JNTO 国際会議誘致・開催貢献賞

国家戦略として位置づける国際会議誘致・開催の意義に関する国民の理解を促進し、国際会議主催者及び都市・推進機関の社会的地位を高めるために、2008 年度に日本政府観光局 (JNTO) が創設したもの。

諸外国との誘致競争の結果、わが国への誘致に成功した国際会議に対する国際会議誘致貢献賞と国際会議開催の際に、国際交流プログラムや接遇サービスの提供、国際会議の運営、経費調達等で他の模範となる実績を挙げた国際会議貢献賞の二部門がある。

(*)MPI (Meeting Professional International)

MPI は 1972 年に設立され、約 17,000 名、19 か国において 75 の支部を持つ MICE 業界最大の組織。

会員の業界知識向上の為の教育プログラム、ネットワーキングとそれによる新規事業創出の機運醸成、MICE 業界としての政策提言を行う。日本支部も、年に 7 回以上のセミナーやネットワーキングイベントの開催に加え JNTO 事業への協力、観光庁の諮問機関の委員を務めたりするなど、MICE 業界の発展に寄与している。

(*)ユニークベニュー

博物館や歴史的建造物においてレセプションや会議等を開催し、特別感や地域特性を演出できる会場のこと。

(*)テクニカルビジット

会議参加者にとって関心のある製造施設・研究施設等の現場見学

(*)ICCA

International Congress and Convention Association (国際会議協会 本部アムステルダム) の略。

1963年に創設された国際会議に係わる業界関係者の知識と人脈を構築し、世界各国で国際会議を開催するための情報交換を目的とする団体。現在、世界87カ国の約900団体の政府観光局、コンベンションビューロー、会議施設、ホテル、リゾート等の業界関係者が所属している。

(*)SITE (Society for Incentive Travel Excellence)

SITEは1973年に設立されたインセンティブ旅行業界最大唯一の協会。旅行会社、コンベンションビューロー、イベント会社、ホテル等の関係者2,000人以上が会員となり、84か国29地区分会を有している。

(*)JCCB (Japan Congress Convention Bureau) (一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)

我が国のコンベンションをより一層振興させることを目的に、国際観光振興会、国際会議観光都市、コンベンション・ビューロー等により設立された組織。